

熊野高等学校

実施日時	①令和2年11月5日（水） ②令和3年2月17日（水） ③令和3年3月16日（火）～18日（木）
参加者	①生徒503名（高1・2・3・専1）、教職員63名、合計566名 ②生徒311名（高1・2・専1）、教職員73名、384名 ③生徒182名（高2）
実施内容	①シェイクアウト訓練 ②地震・火災避難訓練 ③救急救命講習

ねらい

生徒の防災意識の向上をはかり、地域防災の担い手として自助・共助の精神を尊び、地域で自立し、共生できる人材を育成する。

主なプログラム

1 シェイクアウト訓練



2 避難の様子



3 救命講習



概要

① 11月5日の世界津波の日に実施。『「災害の記憶」と未来に伝える』を配布し、各担任から説明。自動受信緊急地震速報による警告後、校内放送で地震発生を通告。各教室ではシェイクアウト訓練として『低く』『頭を守り』『動かない』姿勢をとらせた。

②大規模地震とそれに伴う二次災害としての火災発生を想定した避難訓練をおこなった。生徒は安全確保後、緊急避難経路を通過して、グラウンドへ避難した。参加生徒すべてが、約5分で避難を完了した。

③田辺消防本部上富田分署の指導の下、三日間に分けて、高2生が受講した。コロナ禍で、人工呼吸のパートは実施できなかったが、AEDシートの利用方法について本校サポーターズリーダー部が説明を行った。3日間、田辺消防本部上富田分署の隊員の皆さんから丁寧にご指導をいただき生徒にとっては貴重な機会となった

参加者感想

・避難訓練をとおして、普段から避難場所を意識したり、すぐに逃げられるように荷物をまとめたり、家族と事前に話し合っておくことなどの重要性を再確認しました。

・いざというとき（地震や心肺蘇生など）に、今年受けたいくつかの訓練の内容をよく思い出して、すぐに行動に移し、地域社会に貢献したいと思いました。

成果と課題

【成果】

本校は上富田町唯一の高校で、上富田町と町づくり地域連携協定を結び、地域の方々と積極的な交流を行っている。例年であれば、上富田町との恒例行事として、合同防災訓練を実施して、熊野高校生と地域住民の防災意識の向上を図っているが、今年度はコロナ禍にあって開催を見送り、本校単独での訓練実施となった。

【課題】

次年度は10月に上富田町との合同防災訓練の実施が予定されている。2年ぶりの開催となるが、生徒には高校生が地域の防災を担っている意識をしっかりと持たせていきたい。

今年のように開催を見送られるケースも想定して、学校独自の防災教育で地域に貢献できる生徒を育成できるよう計画的なプログラムを準備して、くことが今後の課題である。